

書名		新しい道徳	2 東 書
項目			
特 色	内 容	<p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材の冒頭に主題名、問いが明記され、児童が本時に学ぶ道徳的価値を把握しやすいように工夫されている。指導する教師側にとっては教材研究がしやすくなっている。 ○学期ごとの「振り返り」のページがあり、児童が自身の変容や成長をみつける良い機会となり、評価にも活用できる。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代的な課題を扱った教材が量、質ともに豊富である。オリンピック・パラリンピックといった時事的な内容も多く掲載している。 ○いじめ問題を取り上げた資料が充実しており、「ユニット教材」として「とびらページ」「直接的教材」「間接的教材」と連続的に学習できるように配列が工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年生のスタートカリキュラムとして配慮された教材が3つ用意されている。低学年では身近な生活場面を教材にしている物が多い。 ○発達の段階に即して重点内容項目を明確に示している。 低学年－「善悪の判断、自律、自由と責任」「礼儀」 中学年－「善悪の判断、自律、自由と責任」「希望と勇気」「友情、信頼」「勤労・公共の精神」 高学年－「希望と勇気」「友情、信頼」「勤労、公共の精神」「伝統と文化の尊重」「よりよい学校生活」「国際理解、国際親善」 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○吹き出しに自分の考えを記入するといった活動型教材が充実しており、より議論を活発にさせようとする工夫が見られる。 ○3年生以上に問題解決的な学習に対応した教材「問題を見つけて考える」があり、考えるポイントを明記し、議論しやすくしている。 	
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の扱い方で、人権的な配慮が随所に見られる。 ○巻末に「みんなで歌おう」などの付録があり、他教科や、実生活と関連した内容を取り上げている。調べ学習にも活用できる。 	
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○文字のフォントが太く、大きい。字が濃く見やすい。 ○1年生では、カタカナに平仮名のルビがふってある。 	
総 括	<p>4つの視点における内容項目配列のバランスが良く、教材数ではDの視点「主として生命や自然、崇高なものとの関わり」を重要視している。教材の冒頭に主題名、問いが明記され、振り返りページが充実している点は、教師が指導しやすい教科書であると考えられる。</p>		

書名		かがやけみらい 小学校道徳 きづき	11 学 図
項目			
特色	内 容	<p><道徳科の目標に関わる工夫> ○教材中に、主題名、問いをあえて掲載しないようにしていることで、児童の気づきや多面的・多角的な考えを大切に扱おうとしている。 ○低学年のうちから、人間としてよりよく生きる基盤として自分自身の個性や他者とのつながりを大切に育てようとしている。</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○現代的な課題については、「情報モラル」「いじめ」などと教材の冒頭に明記され、教師が意識して指導しやすいようになっている。 ○いじめ問題を取り上げた資料が充実している。学校の年中行事等に合わせて配列されており、学校生活の中で道徳的心情が深まるよう工夫されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○各学年とも、発達段階に合わせた「学級づくりのゲーム」のページがあり、道徳的实践意欲を高揚させる効果が期待できる。 ○発達の段階に即して重点内容項目を明確に示している。 低・中学年－「個性の伸長」「礼儀」「感謝」 高学年－「勤労」「伝統と文化の尊重」「国際理解、国際親善」</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○「こころのパレット」と称したノートが別冊となっていて、友だちや家族の考えも記入でき、児童に自らの考えを深めさせる工夫がなされている。また、学習を振り返り、自分につなげていく自己評価欄が用意されており、児童の変容を多様につかむことができる。「まなびのヒント」として学習方法の紹介もある。</p>	
	資 料	○挿絵が濃く、写真がわかりやすい。視覚的にイメージしやすい。 ○新しい教材が多く見られる。 ○ページ毎にQRコードがあり、電子データをダウンロードできる。	
	表記・表現	○教材文が精選され、文字数や重量を減らしてある。 ○全学年で「ユニバーサルデザインフォント」を使用し、文字が大きく、行間が広くて読みやすい。1年生でのカタカナ表記に平仮名ルビがある。	
総 括	ページ数が第6学年でも148ページと各社の中で最もコンパクトである。Cの視点「主として集団や社会との関わり」の教材が全体の3分の1を閉め、自分と他者とのつながりや社会でよりよく生きていこうとする道徳性の育成を重要視している。		

書名		17 教出
項目	小学道徳 はばたこう明日へ	
特色	内 容	<p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <p>○教材の冒頭に主題名、問いが明記され、児童が本時に学ぶ道徳的価値を把握しやすいように工夫されている。指導する教師側にとっては教材研究がしやすくなっている。</p> <p>○教材の終末には、「かんがえよう」「ふかめよう」「やってみよう」「つなげよう」を設け、道徳的心情だけでなく、判断力を育成し、実生活での実践に生かせるように工夫されている。</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○現代社会における多様な教材が掲載されている。家庭・地域や社会参画を重要視している。</p> <p>○重点テーマとして、「いじめ問題」「生命の尊厳」「情報モラル」を示しており、児童が自分のこととして正面から向き合うことで、いじめや差別を許さない強い心を育てることを掲げている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○各学年共に、年度当初に「道徳授業のガイダンス」を設け、授業の流れを確認することで、見通しを持った学習へと繋げている。</p> <p>○発達の段階に即して重点内容項目を明確に示している。 低・中学年－「節度、節制」「親切、思いやり」 高学年－「希望と勇気」「よりよく生きる喜び」</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○児童が自らの考えを書き込むページが多く設定し、自分の考えを整理して議論しやすく工夫している。問題解決的な学習、体験的な学習と多様な指導方法ができるように構成されている。</p>
	資 料	<p>○内容項目毎にまとめた教材配列になっており、学習内容の習熟を図ることができるように工夫されている。</p> <p>○低・中・高学年別に掲載教材の特色がある。 低・・・物語教材 中・・・生活文 高・・・人物の生き方を記した教材 が多い。</p>
	表記・表現	<p>○フォントの大きさを発達段階に限らず、資料の特色によって変えている。</p> <p>○文字間の間隔がちょうどよく、読みやすさがある。</p> <p>○児童に学ばせたい言葉を精選している。</p>
総 括	<p>一教材あたりの文章量を精選してページ数を控えめにしている。本教材30で全内容項目を抑えることができ、他の教材を差し替える等、学校の実情によって、指導計画が工夫できる。教材数ではCの視点「主として集団や社会との関わり」が全体の3分の1を占め重要視している。</p>	

書名		道徳	38
項目		きみがいちばんひかるとき	光村
特色	内 容	<p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <p>○教材の冒頭に主題名、問いが明記され、児童が本時に学ぶ授業の見通しが持ちやすいように工夫されている。また、終末には、「かんがえよう」「はなしあおう」と示し、それぞれ「○」「◎」と重点化され、児童と教師でつくる道徳と掲げている。</p> <p>○2年生からは、「つなげよう」と示し、授業の中だけで学びが終わらないように工夫している。</p> <p>○教材の配列が、1年間で3つのまとまりに分けてのカリキュラムマネジメントに配慮した構成となっている。</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○現代的な題材を扱った教材数が比較的多く、重点としている。</p> <p>○現代的な課題については、「ユニット型教材」を採用し、発達段階に合った問題を系統的に取り上げるとともに、それぞれにコラムを付け、考えを深める効果を期待している。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○道徳の時間をより豊かにするために、道徳では何をどんなふうに学ぶのか、何について考えるのかを確認するページを設けてある。</p> <p>○発達の段階において特に重点とするのではなく、満遍なく学習できる構成としている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○学期ごとに「学びの記録」を用意し児童に自己評価させやすくしている。</p> <p>○言葉の学習として、自分の気持ちを表現する言い方も学べるようにし、「議論できるクラス」を目指すことを掲げている。</p>	
	資 料	<p>○各学年の発達段階に応じた巻頭詩が掲載されている。</p> <p>○教材に関する付録的な資料が多く掲載されている。</p> <p>○流行作家のコラムコーナーが随所に掲載され、新しさを感じる。</p> <p>○QRコードがあり、電子データをダウンロードできる。</p>	
	表記・表現	<p>○フォントが太く、行間にゆとりがあり、読みやすさを感じる。</p> <p>○写真が大きくて、迫力が伝わってくる。</p> <p>○1年生カタカナへのルビ、乱暴な言葉の精選が配慮されている。</p>	
総 括	<p>教材掲載数は標準授業時数の209であるが、ページ数が他社と比較して最も多い。重点とするのではなく、A、B、Cの視点を並列に扱い、6年間でバランス良く学習できるようになっている。正解を求めるような授業にならないように、教師と児童とで「より良い道徳授業をつくる」という趣旨が特色となっている。</p>		

道徳科 調査資料1-5

項目		書名 小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート	116 日 文
特色	内 容	<p><道徳科の目標に関わる工夫> ○教材の冒頭に主題名、問い、さらには登場人物や条件・状況が明記されており、児童が学びやすく、教師が指導しやすい作りとなっている。 ○教材の終末には、「かんがえてみよう」「みつめよう・「いかそう」と示され、道徳的心情や態度について自己をみつめ、実践意欲を高めるよう工夫されている。 ○「心のベンチ」として、「いじめ防止」「食育」「キャリア教育」などで他教科や家庭と連携した道徳を掲げている。</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「安全の確保」「持続可能」をキーワードとし、社会や自然を持続していく人間としての道徳性を育もうとしている。 ○各学年に「いじめをなくす」題材の教材が多く掲載されており、「ユニット教材」として人権尊重の精神を育もうとしている。</p> <p><発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○1年生のスタートカリキュラム、6年生の卒業期として配慮された教材があり、校種間の接続、連携を意識している。 ○全学年で深く考えさせたい内容項目を重点として明確にしている。 「善悪の判断」「節度、節制」「親切、思いやり」</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○道徳ノートが別冊となっており、「ブックインブック形式」で製本され、収納しやすくしている。児童が自ら心の成長を記録することに重点を置いている。 ○児童が自分の考えを整理したり、深めたり、自己評価したりと、使いたい時に使いたい部分だけ活用するといった多様な扱い方ができる。</p>	
	資 料	<p>○教材がすべて見開きで掲載されており、学習しやすくなっている。 ○教材となる資料文が親しみのあるものが多く、考えやすさを重要視している。有名な資料も数多く掲載されている。</p>	
	表記・表現	<p>○8社中、唯一表紙のデザインが写真である。資料中の挿絵、写真がダイナミックで迫力がある。 ○1年生のカタカナ表記に平仮名のルビがふってある。</p>	
総 括	<p>教材掲載数は標準授業時数を大きく上回る227となっており、学校の実情によって、指導計画が工夫できるように配慮されている。Dの視点の掲載数を少し抑え、A、B、Cの視点を6年間でバランス良く学習できるようになっている。学習方法や各視点を示すマーク表記が他社と比較して多く、教師が教材研究をするのには便利である。</p>		

書名		208 光文
項目	小学道徳 ゆたかな心	
特色	内 容	<p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材の冒頭に主題名、問いがあり、教師が指導しやすいように、ページが4視点に色分けされている。児童も学ぶ道徳的価値について見通しが持ちやすいつくりとなっている。 ○教材の終末には、「やってみよう」と示され、培われた道徳的心情や判断力を実生活で実践させる意欲を高めよう工夫されている。 ○学習時期と教材内容の季節が一致させてあり、児童がより自分事として捉えやすいように工夫してある。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○目次や中表紙に、現代的な課題としてマークがついている。教師が意識して指導できるように配慮されている。 ○現実的な課題を多様な視点から考えさせるようにしている。特に「いじめ問題」については、人気キャラクターによるコラム「みんな仲よし楽しい学校」とし、児童が主体的に関われるよう工夫している。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年において、年度当初のオリエンテーションについては、児童一人一人に投げかけ考えさせるように工夫されている。 ○全学年で「節度節制」「生命尊重」の教材数が多く、重点化している。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材資料分の脚注に「考えるためのポイント」「大切な見方」と示し、児童が議論しやすいように投げかけている。 ○巻末に「学びの足あと」とコーナーを設け、児童が一行日記で自己評価できるように工夫されている。
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○地域を取り上げた教材が掲載されている。 ○「スマホ」や「広島カープ」など、児童の興味関心を惹くような今日の流行を題材にした新しい資料があり、新鮮さを感じる。
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○教材資料のコマ割りが多様である。フォントや文字間、余白が大きく、見やすい作りとなっている。 ○1年生のカタカナにルビがある。挿絵が可愛く馴染みやすい。
総 括	<p>A4版の大きいサイズで、児童にとっては活字も大きく見やすい教科書である。他社と比較して教材数が240と最も多く、標準授業時数より多く掲載されている。地域教材や人物教材も多く、学校の実情や児童の実態、発達段階に応じて各校で年間指導計画を考えられるようになっている。</p>	

書名		224 学 研
項目	新・みんなの道徳	
特色	内 容	<p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <p>○教材中に、主題名、問いをあえて記載しないようにしていることで、児童の気づきや多面的・多角的な考えを大切に育もうとしている。</p> <p>○巻末には、「かんがえよう」と投げかけ、児童が主体的に道徳的判断力、心情、実践意欲を高められるように配慮している。</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○現代的な課題の教材数が充実している。特に「いのちの教育」として、重点を示している。</p> <p>○「いじめ問題」については、集団としての関わりというよりも、自分自身をみつめ、相手の気持ちに立ってという視点で構成されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○1年生のスタートカリキュラムとして優しい内容の教材を掲載しているが、他社と比較して最初から文のある教材資料としている。</p> <p>○発達の段階に即して重点内容項目を明確に示している。</p> <p style="padding-left: 20px;">低学年－「節度、節制」「個性の伸長」「礼儀」「規則の尊重」</p> <p style="padding-left: 20px;">中学年－「友情、信頼」</p> <p style="padding-left: 20px;">高学年－「相互理解」「寛容」「伝統と文化の尊重」「国際理解、国際親善」</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○4種類の「学び方のページ」（ふかめよう・つなげよう・やってみよう・ひろげよう）が用意されており、多様な学びの展開で考え議論する道徳を目指している。</p> <p>○巻末に「心の宝物」として、1年間の学びを振り返ることができるページを特設している。</p>
	資 料	<p>○発達段階における重点内容項目がはっきりとしている。</p> <p>○挿絵がページを跨いでいないので見やすい。童話調、アニメ調、リアル調と多種多様である。</p>
	表記・表現	<p>○教材名の題名が大きく、わかりやすい。フォントが大きく見やすい。</p> <p>○紙面が目に優しい色に配慮されている。</p> <p>○教材の内容を把握しやすいよう難語句、読みづらい漢字、1年生のカタカナ表記に平仮名ルビがふってある。</p>
総 括	<p>A4版の大きいサイズで、児童にとっては活字も大きく見やすい教科書である。各教材の冒頭に主題名や問いを掲載していないので児童の気づきを大切にし、問題解決的な学びができる良さがある。4つの視点における教材数のバランスが良い。先人の伝記、スポーツ選手の教材が多い。</p>	

道徳科 調査資料1-8

書名		みんなで考え、話し合う 小学生の道徳 自分を見つめ、考える 道徳ノート	232 廣あかつき
項目			
特色	内 容	<p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <p>○教材の冒頭に主題名が明記され、児童が本時に学ぶ道徳的価値を把握しやすいように工夫されている。指導する教師側にとっては教材研究がしやすくなっている。</p> <p>○教材の終末には、「かんがえよう」「はなしあおう」と大きな表示で掲載している。まとめや事後指導がしやすく工夫されている。</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○全学年に「命の教育」特設ページを設け、「生命尊重」や「いじめ防止」「人権教育」の観点を重点的に掲載している。</p> <p>○「情報モラル」や「社会の持続的な発展」に視点をあて、児童の発達段階に応じて多面的・多角的に考えることができるような教材を工夫している。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○1年生のスタートカリキュラムとして配慮された教材が3つ用意されている。</p> <p>○各領域ごとの教材数が全ての学年でほぼ同一数の構成となっている。学習指導要領総則を踏まえて、「善悪の判断」「自律」「自由と責任」「親切、思いやり」「生命の尊さ」を重点項目としている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○「心のしおり」と称したノートが別冊となっており、児童がシンプルに自らの考えを自己評価できるよう工夫されている。また、家庭との連携を図れる作りとなっている。</p>	
	資 料	<p>○各学年の発達段階に応じた巻頭詩が掲載されている。</p> <p>○挿絵が絵本的な描写になっている物が多く、文学的な趣きを感じる。</p>	
	表記・表現	<p>○資料中の表記や表現に人権的な配慮がなされている。</p> <p>○1年生のカタカナ表記に平仮名のルビがある。</p> <p>○2年生からは、文字数も多くなり、文学的な描写になっている。</p>	
総 括	<p>視点別では、A「自分自身との関わり」を重要視しており、他社と比較して最も教材数が多い。自分を見つめ、他者と考えることで「豊かな自己の形成」を目指している。D「生命や自然、崇高なものとの関わり」の教材数が他社と比較して最も少ない。</p>		